

菊鹿町

総面積 77.17 km²
 総人口 8,340人
 特産品 押花、ヘチマ、薬草、栗、
 たけのこ、茶 他



熊本伝統工芸館で行った押花作品展



花パック

押花の里づくり急ピッチ



ピンセットなどを使った手作業で製品化します。

菊鹿町の押し花の里づくりが、急ピッチで進んでいます。
 これはくまもと日本一づくりの運動の一環として進められているもので、昭和六十三年にNTTの押し花電報を開発した押し花研究家に協力を依頼。
 押し花教室を開催して技術者の養成を図るとともに、昨年七月から町総合センターに押し花研究所を設け、産業グループ十数人で製品化活動をしています。
 今年四月、熊本伝統工芸館で行った押し花作品展が新聞、テレビで報道されたのをきっかけに、県内はもとより全国各地から、問い合わせが相次いでいます。その多くは、「押し花を自分でやってみたい、おしえてほしい。」というものです。そんな声にこたえて、五月下旬より熊本市総合婦人会館において、初級押し花教室を開講することになっています。

製品のカatalogもできたので通信販売の依頼が徐々に増えており、今後暑中見舞いのシーズンともなれば、かなりの注文が予想されます。押し花しおりが関西以西の有名書店で、また「花パック」と言われる押し花製品の素材のセットが、東京のデパートで販売されていますが、それが今では押し花愛好者の話題となり、いろいろな情報や注文が寄せられています。更に、家具業界や大手の園芸店からも、問い合わせが来ているといった具合です。市場が求めているのは、山野に咲く自然の草花ですが、今後は、そうした要求にどう対応していくかが課題のようです。

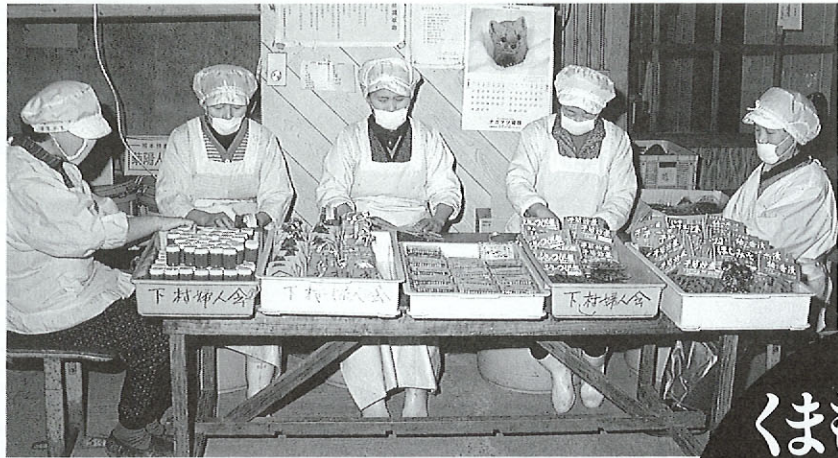
研究所はいつでも見学できます。
 興味のある方はお気軽にどうぞ、
 菊鹿町押し花研究所
 電話 〇九六八(四八三)九六〇



湯前町は、人吉から球磨川をのぼること約24km、県南部の球磨盆地東端に位置します。北に仰ぐ霊峰「市房山」は、春には深緑、夏には涼感あふれるさわやかさ、秋には目にしみるような紅葉、冬には吹きおろす木枯らしと様々な顔を見せてくれます。
 現在、人吉球磨地域は、その恵まれた特質を最大限に生かした地域振興に力を入れています。その大きな源動力となるのがくま川鉄道です。この路線は、旧国鉄の廃止対象路線でしたが、昨年10月に地域住民の熱い支援により第3セクターによる鉄道として生まれ変わりました。

そこで、湯前町では、乗客増につながる沿線地域の振興策の一つとして、駅周辺を拠点とした町の活性化を図っています。すなわち、利用者の流れを人吉市と湯前町の間の双方向性という本来の姿に戻し、さらには、くま川鉄道の終着駅としての魅力を総合的に充実させるように頑張っているところなのです。

そのシンボルが、このほど完成した多目的イベント広場「レールウイング」です。
 湯前駅に一旦降りたつと、そこは、長さ200m、翼の形をした総檜づくりの巨大なプラットフォームです。77%を山林で占める本町ならではのこだわりではないでしょうか。人の心にしっかりとなじむ木づくりのレールウイングが、きっと訪れる人の心をひきつけることと思います。



無農薬、無添加の漬物、ジャム等の製品づくり

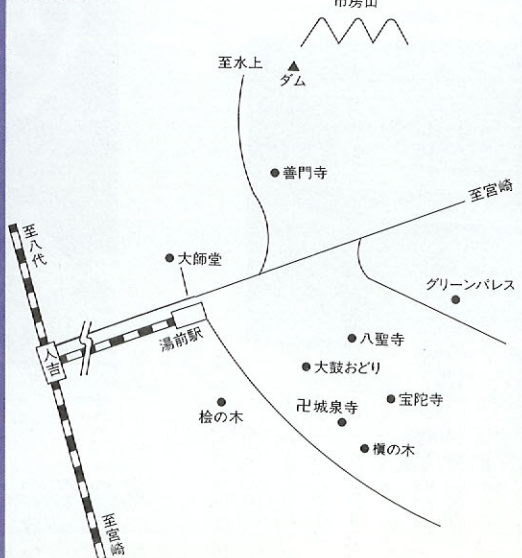


のふれあい・交流の場として、幅広く活用していきます。さらに、本町には、無農薬、無添加物の漬物、ジャム等の製品づくりによる地域づくり、内発的村おこしとして全国に高い評価をもつ下村婦人会、国の重要文化財に指定されている城泉寺など素晴らしい自然、歴史、文化、産業などが数多くあります。湯前は、翼を広げて温かく皆さんをお迎えします。



レールウイングでの青空市

案内図



城泉寺阿弥陀堂



石道九里塔

町おこしの合言葉はレールウイング

湯前へ来てみなごせ

湯前町

総面積 48.24 km²
 総人口 5,805人
 特産品 杉、ヒノキ、メロン、イ草、
 ブドウ、葉タバコ他